

# 汽車待合所の広告

広告

立春もやがてきのとの酉年の始の月の二十日より梅花とともに開店なす  
 は元鶯の初音亭、文明開化のよ（世）につれて千里の道も一足飛、むか  
 いの岸の石倉に手濃の寿しの押つよく、濃き山吹のお茶漬から即席料理  
 半会席、何でも彼でも鉄道線の汽車の早きにちなみ鉄線亭と申しま  
 す（升）れは、彼車時限の御待合或は運動、御遊歩に、働いの安きとい  
 きのよき魚の調理の塩梅に四方の御客の御風をひとえに願ひ申すに  
 ん

御膳 すし 折詰 重詰  
 即席御料理 仕出し  
 有合 御茶漬  
 洋酒各種 其外御好次第  
 汽車御待合所 鉄線亭  
 一月二十日より開店三日間（租）品呈上

## 廣告

立春もやがてきのとの酉年の始の月の  
 廿日より梅花と、もに開店なすは元鶯  
 の初音亭、文明開化のよにつれて千里の  
 道も一足飛むかひの岸の石倉に手濃の  
 壽しの押つよく濃き山吹のお茶漬から  
 即席料理半会席何でも彼でも鉄道の線  
 路の流車の早さにちなみ鉄線亭と申し  
 れば、彼車時限の御待合或は運動御遊歩  
 に働への安きといきのよき魚の調理の  
 塩梅に四方の御客の御風をひとえに  
 願ひ申すに

御膳 すし 折詰 重詰

即席御料理 仕出し

有合 御茶漬

洋酒各種 其外御好次第

汽車御待合所

鉄線亭

一月廿日より開店三日間品呈上

「鉄線亭」という汽車の待合所として開業した食堂の広告です。五七調の調子のよい文で書かれています。

明治17年（1884）、上野・高崎・前橋間を結ぶ日本鉄道が開通しました。翌18年（1885）は、乙酉（きのととり）年で、上の広告にある「鉄線亭」が開業した年です。日本鉄道開業当時の前橋駅は、現在の前橋市石倉町にありました。開業当時は、上野・前橋間を1日に3往復し、片道に4時間以上かかりました。東京まで3日ほどかけて歩いてきたことと比べると「文明開化の世につれて千里の道も一足飛」と、汽車が非常に速い乗り物として当時考えられていたことがわかります。